

人間科学研究グループ 教授 高橋秀晴
研究テーマ：夏目漱石の文学 編集者の機能 秋田の近代文学 研究の特徴：ジェンダーの視点からの漱石研究であること、編集・出版者の機能から文学史を構築すること、秋田の風土と文学との関係に着目していること。
研究紹介： 第一に、夏目漱石の後期作品群の分析を進め、作中に潜在しているジェンダー問題及び師弟関係という視点から漱石文学の特質を解明することに取り組んでいる。第二に、佐藤義亮（新潮社創業）、滝田樗陰（中央公論主幹）、後藤宙外（雑誌『新小説』編集主任）らの編集・出版活動を検証することを通して、明治・大正期におけるジャーナリズムの機能について考察している。第三に、秋田に関連する文学現象に関して、大館（安藤昌益、狩野亨吉、小林多喜二）、秋田（小牧近江、金子洋文、今野賢三、伊藤永之介）、横手（石川達三、石坂洋次郎、鈴木清）、仙北（田口掬汀、平福百穂、富木友治、千葉治平、高井有一）といった各地における人間関係の具体的な相を明らかにすべく、調査・分析・考察を続けている。
研究業績（2015 年度以降） ・査読付論文 : 6 件 ・査読無論文 : 1 件 ・著書 : 1 件 ・学会報告等 : 7 件 ・競争的研究費：科研費 2 件（基盤 C 代表 2） 大学コンソーシアムあきた学際的研究プロジェクト 5 件
その他 主な地域貢献業績（2020 年現在） 1）秋田県立秋田南高等学校学校評議員、2005 年 4 月～ 2）秋田県高等学校教育研究会国語部会顧問、2006 年 7 月～ 3）あきた文学資料館収集検討委員、2007 年 4 月～ 4）秋田県立循環器・脳脊髄センター（旧秋田県脳血管研究センター）医薬品受託研究審査会委員医薬品受託研究審査会委員、2007 年 11 月～ 5）秋田市公文書管理委員会委員、2013 年 5 月～ 6）A B S 秋田放送番組審議会委員長、2014 年 7 月～ 7）秋田県文化財保護審議会委員、2014 年 9 月～ 8）秋田市立佐竹資料館寄贈および寄託事前審査会委員、2014 年 10 月～ 9）秋田県立秋田高等学校同窓会常任理事、2014 年 10 月～ 10）私立大学等即戦力人材育成支援事業選定に係る審査委員会委員、2018 年 4 月～ 11）公益財団法人さきがけ文学賞渡辺喜恵子基金理事、2018 年 6 月～ 12）秋田県立図書館協議会会長、2019 年 11 月～